



(講師近影)

連続講演会
平成30年度テーマ〈坂本龍馬とその時代〉

第1回目

慶応3年の坂本龍馬と「船中八策」
講師 知野文哉さん (歴史研究家)

日時 平成30年10月27日(土) 開場13:00 開演13:30 終了16:00頃

会場 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール

定員 100名(先着順)

申込方法 事前に高知県立坂本龍馬記念館まで電話・FAX・メールでお申し込みください。

FAX・メールの場合は「お名前・ご住所・お電話番号」をお書きください。

★当日は桂浜駐車場から当館までの無料送迎タクシーを実施しますので、できる限る、ご利用ください。(11:30～17:00頃実施予定)

★講演会を聴講される方には、無料観覧券を進呈いたします。

当日、設置する受付にてお申し出ください。(当日限り有効)

【講師からのメッセージ】

平和革命を目指した龍馬が後藤象二郎に「船中八策」を示し、それが最終的に徳川慶喜の大政奉還へとつながったというエピソードは有名です。しかし慶応3年の龍馬の動きを追ってみると、龍馬は決して武力行使を否定していなかったことがわかります。寧ろ龍馬にとって大政奉還はあくまでも幕府を倒す手段のひとつに過ぎず、土佐が薩長に取り残されないことこそが大事だったと考えられます。では「船中八策」伝説とは何だったのでしょうか。皆さんと考えてみたいと思います。

【講師プロフィール】

1967年熊本県出身。少年時代からの坂本龍馬好きが高じ、会社勤めの傍、佛教大学通信教育課程に在籍し、明治維新史の研究にあたる。2013年に上梓した『「坂本龍馬」の誕生—船中八策と坂崎紫瀾—』(人文書院)で、「船中八策」がフィクションだったとの仮説を論証し、第24回高知出版学術賞を受賞した。

主催 高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)

〒781-0262 高知市浦戸城山830

TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015

ホームページ <https://ryoma-kinenkan.jp>

メールアドレス ryoma@ryoma-kinenkan.jp



高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum